

「5年後の函館観光が目指すあるべき姿」(案)

観光誘客による観光消費額の増加により、観光業の売り上げを増加させ、観光業を活性化させる。

これにより、観光産業の振興が図られ、関連のある事業者へも直接的な効果があり、また、観光消費による経済波及効果や地域循環により、他産業にも売上の増加をもたらすほか、市民生活にも経済的な効果が波及している。

観光基本計画のあるべき姿を実現するためには、

- ・観光業の活性化を目指す計画、観光事業者と一緒にやってみようという計画でなくてはならない。
- ・観光産業はすそ野が広く、観光客の消費は直接、または経済波及効果により、多くの事業者に効果があることを丁寧に説明することが必要である。
- ・市民の皆様には、経済波及効果による収入の増加や、地域循環による都市機能整備、観光産業への就職機会など様々な効果があることなどを説明し、観光が函館の基幹産業であることへの理解を深め、また、函館が素晴らしい観光地として評価されていること知り、新しい視点から函館を見ることによる、シビックプライドの高まりや、函館愛の醸成が、将来的な函館観光の発展に繋がることを示すことが必要である。